



桃一通信

No. 609



桃井第一小学校
(3390) 3178 (代)

平成29年 10月号



神無月と

校長 内田 裕司

秋の野に 道も惑ひぬ松虫の 声する方に 宿やからまし (詠み人しらず)

秋の野では草が茂り、帰る道もわからなくなってしまった。それならば人を「待つ」という松虫の声のする方向に向かって一夜の宿でも借りようか。

いつもの話を。「神無月」の語源としては下のような説があるそうです。いずれにしても「神無」は宛字としているのだろう。

醸成月(かみなんづき):新穀で新酒を醸す月

神嘗月(かんなめづき):新嘗(にいなめ)の準備をする月

神な月(かみなづき):「神の月」の意

雷無月(かみなしづき):雷のない月

一般には、出雲の出雲大社に全国の神様が集まって一年の事を話し合うため、出雲以外には神様が居なくなる月の意味と言われており、出雲では神在月というようです。

先日のモモリンピック142では、保護者・地域のご協力をいただき有難うございました。天候不順の影響で充分な練習はできませんでしたが、子供たちの頑張り、笑顔、汗、感動が十分味わえたのではないでしょうか。

天候不順といえば、今年は自然災害が多発しました。中国の大洪水、メキシコの大地震、アメリカのハリケーン等の災害。日本でも、九州北部豪雨や各地での記録的短時間大雨情報の回数も過去5年で最多と報じられていました。東京の連続降雨日数も過去タイ記録とのこと、晴れの日が欲しかったですね。

晴れといえば、本校ではからだ力向上の一環として食に力をいれていますが、近年、ハレ(晴—非日常)とケ(衰一日常)の食が変化してきていて、日本の食文化の継承はどうなるのかとの話がありました。

ハレは年中行事等に出されるご馳走と考え、そこにはマナー等の継承も含まれていました。また、作法も違っていました。食のアクセントが曖昧になってきた近年、マナー・作法等、日本の伝統がどうなるかの心配の声です。

ハレの日には、「ゆっくり」、「行儀よく」、「挨拶」、「譲り合い」、「箸のつけ方」、「共食による多くの人のコミュニケーション」等。

また、伝統的なハレとケの膳の呼び名も違っていました。主食は御飯と糅米(かてめし)、什は御吸物と実付け、漬物は御新香と古香(こうこ)と中身と呼び名も違っていました。

近年はといつても、この5, 60年ですが、ハレとケのけじめがなくなり、ケの日の意識で食事をするようになりました。そこで、上記のことが受け継がれるかの懸念が取りざたされるようになりました。

やはり正月と御節、彼岸の牡丹餅・御萩等、ハレの日にはケと違う物を食べ、マナーや作法に触れたいものです。

さて、本校は長縄跳びに力を入れてきています。この長縄跳びですが、10月14日(土)は校内長縄グランプリ、10月28日(土)には、区の小学校からだ力(りょく)向上長縄グランプリがあります。

今年は1年から参加可能になったので、全学年で参加できればと考えています。当日奮って参加するようご家庭でも声かけしていただければと思います。

話はかわりますが、名月の季節です。今年の十五夜は10月4日です。十三夜は11月1日です。例年より遅いですが両方見られるといいですね。「十三夜に曇り無し」という言葉もあるそうですから、期待したいと思います。

特に十三夜は、薄や秋の七草を供えて月見をします。秋の七草とは、萩、葛、撫子、尾花、女郎花、藤袴、桔梗であり、春の七草はお粥にして食べますが、秋は観賞して楽しみます。

神無月と

学校ニュース

- ・桃一小野球クラブが第40回都知事杯争奪杉並区学童野球大会学童の部において優勝しました。おめでとうございます。
- ・10月は体力向上月間です。積極的に体を動かすようにしましょう。
- ・9月20日の読売新聞に5年1組児童の自由研究が紹介されました。

10月の生活目標「進んで仕事をしよう」

生活指導部だより

数年前に「世界は誰かの仕事でできている」というキャッチフレーズがありました。学校でも子供たち一人一人に係の仕事をはじめとした色々な仕事があります。そして、それによってみんなが楽しく気持ちよく生活できます。高学年は、新たに後期委員会活動が始まります。ここでも桃一小のために、力を出してくれることでしょう。

決められた自分の仕事を一生懸命にすることはもちろん、周りを見て気が付いて仕事をしたり、誰かの仕事に協力しようとしたり、といった気持ちも大切にしています。小さな仕事でも自分の役割をきちんと果たし、最後までやり遂げることができるよう、日頃より励まし、指導しています。

ご家庭の中で自分ができる仕事についても、保護者の方とお子さんで話題にしていただけするとありがたいです。気持ちよく進んで仕事のできる子供たちを、学校と家庭の両方で育てていきたいと考えております。

安全教育について

桃一小では全学年で茨城警察や民間企業の協力のもと、安全に関する教育を行っています。今年7月に実施したセーフティ教室をはじめ、様々な学習を通して、身近に起こる危険に対する判断や対処の仕方について、段階に応じて学びを深められるようにしています。

毎月の避難訓練では、避難時の合言葉「おかしも」（おさない、かけない、しゃべらない、もどらない）の定着や、様々な災害（地震、火災、不審者の侵入など）に応じた、避難の仕方について学んでいます。9月には雨天時の地震を想定して、保護者の方々とともに、引き渡し訓練も実施いたしました。引き渡し訓練の待機時には、実際の災害や、避難に関する映像を放映するなどして、高い意識をもって取り組めるようにしています。

学年別でも、4年生は安全な自転車の乗り方とメンテナンスの仕方について学習する「自転車教室」、1年生は交通事故を未然に防ぐためにどのようなことに気を付けなければよいかを学ぶ「交通安全教室」、6年生は薬物の危険について学ぶ「薬物乱用防止教室」、3年生は学区域の危険と思われるポイントを調査して地図を作ることで、身近に潜む危険について学ぶ「安全マップ作成」などの活動を通して、安全についての学習を進めています。

事件・事故の無い安全な学校・地域をつくるため、ご家庭でも、学校での安全教育について、話題にあげていただけだと、学びが定着していくことだと思います。皆様のご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

クラブ活動

クラブ活動は、4年生以上の児童を対象とし、主に月曜日の6校時に活動を行っています。クラブは、児童の希望を重視して決定します。クラブ活動を通して、子供たちは異学年で交流しながら、技を磨き、楽しく充実した時間を過ごしています。

- パソコン…季節に合わせてカードやポスターを作成し楽しく活動しています。（飛田有里）
- 卓球…主に練習などをして他学年と交流を深めています。（梅田廉）
- バドミントン…学年関係なく試合やラリーを楽しめます。（グネラトネたばさ）
- ドッジ・バスケ…全員が楽しめるよう、協力し合って活動しています。（山本康太）
- 手芸・料理…おかし作りをメインに、楽しく活動しています。（吉田真実子）
- ソフト・サッカー…スポーツが苦手な人でも楽しめます。（増井駿介）
- 室内ゲーム…学校にあるゲームをみんなで楽しく遊んでいます。（西村颯喜）
- 工作…自分だけのオリジナル作品を作ることができます。（齋藤梨菜）
- 屋上スポーツ…みんなで遊びを考え提案し、おにごっこなどをして遊んでいます。（金城里桜）
- 科学実験…みんなで協力しながら、いろいろな実験を楽しく活動しています。（大月千紗子）
- 文芸…個人で物語の本を作ります。読書も楽しめます。（松永風香）
- ダンス…6年生が振りを考え、3月の発表に向けて踊りを練習しています。（五十井海瑠）
- 演劇…オリジナル脚本を作り、配役を決め発表に向けて練習しています。（井村結花子）
- まんが・絵本…主に自分で考えたキャラクターやお話を作る活動をしています。（津田さくら）
- 鉄道…すろくまたは車体の模型を作っています。（式田良洋）

4年生の取り組み

ヤゴの観察・飼育

プールの中に生息しているヤゴは、そのままだと清掃時に全部流されてしまいます。そこで、区内在住のヤゴサポーターの方からヤゴの救出の方法や生態について学び、救出しました。

その後は教室で飼育し、羽化させることに成功しました。朝、教室に来たときに成虫になっている様子を見て、子供たちはとてもうれしそうでした。ヤゴについて興味をもったことを調べてまとめました。来年ヤゴを救出する3年生に発表しました。また、9月には、トンボが産卵しやすいように、「ヤゴお誘いセット」をプールに設置しました。



演劇鑑賞教室

9月には、「座・高円寺」で演劇鑑賞教室がありました。当日の演目は「ピノッキオ」でした。今年度は「桃一劇場」が開催される年なので、プロの方の演技をしっかりと見て学ぼうと意気込んでいきました。登場人物の気持ちを表現した迫真的演技や、本格的な舞台演出、さらには素敵な衣装まで、様々なところに感動していました。中でも、出演者数人で、何十もの役をこなしているところに子供たちは驚いていました。桃一劇場での活躍をお楽しみに！

ドッコイショ！ドッコイショ！

モモリンピックの表現では、南中ソーラン節に挑戦しました。初めて演技のビデオを見て、「かっこいい」踊りだという感想をもった4年生。かっこよく踊るためにには、どうすればよいか考えた練習の日々でした。力強い漁師の動きを表現するために、腰を落としたり動きにメリハリをつけたりと、真剣に練習に取り組みました。本番では、これまでの努力が実を結び、大成功！子供たちも満足そうな表情を浮かべていました。たくさんの応援、ありがとうございました。

自転車は、正しく、安全に

4月の交通安全教室で、荻窪警察署の方から自転車の乗り方の指導を受けました。その後、実際に校庭で自転車に乗りながら実践しました。「出発時は左右を確認すること」や「降りるときは左側から」という基本的なことを改めて確認しました。日頃から正しく、安全に自転車を利用できるようにしていきたいです。

